

01

第三回 閉塞に関する報告

三月二十二日—二十七日

0359

04

2541109

聯合艦隊戰鬥詳報第四號

聯合艦隊司令長官東郷平八郎

(注意) 此詳報三三十七年三月廿二日ヨリ廿七日

ニ至ル第三回旅順港閉塞ニ関スル戦況

ヲ載録ス

時針ハ大日本帝國中央標準時ヲ用ヒ

方位ハ磁針ニ據ル

一敵ニ出會スル以前我執リタル方畧

別隊聯合機密第二四六號第二四九號(聯合)

艦隊命令(聯合機密第一六二號)三(閉塞隊)

編制ニ據ル

謀知タル敵ノ形勢

敵主力ハ依然旅順港内ニ在ルヲ如ク知ル

0360

型一隻レトウ弁ザシヨバヤシ外一隻其他数條
ノ煤煙ヲ西港内ニ認メタル旨三月十七日歸來セ
ル第三戦隊ノ報告ニ接セリ

二戦門ノ正確ナル位置

旅順港外

三戦門セシ波我ノ勢力

敵旅須要塞及哨艦艇

我第一戦隊第二戦隊第三戦隊第一第二第三

第四第五駆逐隊第九艇隊(鵠真鶴

加ノ閉塞艇隊(千代丸福井丸弥彦丸米

山丸)

四天候風向及戦門地ノ情况

第四集合地矣在泊中ハ天候除悪ナリシカ旅

0361

03

順港閉塞決行ノ當日ハ天候佳良ニシテ輕微
北風アリ波浪チ端舟ノ運航ニ適ス

五一般戦況

聯合艦隊ハ豫定自的ヲ以テ行動シ第四第
五駆逐隊ハ二十日夜ヨリ二十二日未明迄旅順
港外ニ在リテ與ヘタル任務ヲ遂行セリ此間少
シ敵ノ砲火ヲ蒙リシモ別ニ損傷チシ又第一第
二第三戦隊ハ二十二日午前八時旅順沖ニ達シ
第一戦隊ハ鳩湾ノ方面ニ赴キ富士八島ヲ以テ
港内ニ対シ間接射撃ヲ施行セシタリ
此砲撃中敵艦ハ漸次ニ港外ニ出テ来リ午後
二時我間接射撃ヲ止ムル頃其數戦艦五隻
逃洋艦四隻駆逐艦約十隻トナリシカ終始砲

臺下ニ運動シ我ヲ誘致セントスルヲト認ノタリ又
 敵艦ヨリモ間接射撃ヲナシタルヲ如ク特ニ富士
 附近ニハ着弾多カリシカ一ツモ損傷ナリ我各
 部隊ハ午後三時迄ニ港外ヲ去リ引揚ケタリ
 聯合艦隊ハ前記行動ノ後第四集令地奥ニ於
 テ天候ノ復良ヲ待チ二十六日再ヒ引返シテ旅
 順港ニ向ヒ二十七日午前三時三十分第二
 閉塞ヲ決行セリ四隻ノ閉塞船隊ハ第一第
 二第三駆逐隊及第九艇隊(鶴真鶴)掩護ノ
 下ニ今日午前二時三十分旅順港外ニ達シ敵ノ
 探海燈ノ照射ヲ冒シテ港口ニ直進シ港口ヨリ
 約二海里ニ達スル頃敵ノ發見スル如クトナリ兩岸
 ノ要塞及哨艇ヨリ猛烈ナル砲火ヲ受ケシカ之

第 四 頁

04

三屈セス四隻相踵テ港口水道ニ闖入シ第一
 千代丸ハ黄金山ノ西側ニ於テ海岸ヨリ約半
 鐘ノ所ニ船首ヲ右ニシテ投錨爆沈シ第二福
 井丸ハ千代丸ノ左側ヲ過キソシテ前方ニ進
 テ投錨セシトスル時敵駆逐艦ヨリノ魚形水雷
 一發命中シ次テ其位置ニ爆発沈没シ第三
 弥彦丸モ福井丸ノ左側ニ出テ投錨爆沈セ
 リ又第四ノ米山丸ハ較ヤ遅レテ港口ニ達シ敵
 ノ駆逐艦ノ艦尾ヲ衝突シナカラバ已ニ沈下セ
 千代丸ノ左側ニ接シテ闖入シ直ニ左舷ニ面頭シ
 テ千代丸ト福井丸ノ間ヲ通過シ水道ノ中央ニ
 投錨セシ時敵ノ魚形水雷一發ヲ受テ爆裂
 シ情カノ為ノ左舷ニ近シ半艦首ヲ左ニシテ横様

流没せり敵ノ猛烈ニ砲火ノ下ニ於テ各閉塞
 船力勇敢決着其任務ヲ遂行シタル事業
 トシテ間然スル處ナク拘ニ賞讃スルニ餘リアリ
 唯タ遺憾ナルハ水道ノ廣サニ比シ未タ閉塞船
 ノ隻數少ク殊度丸ト米山丸トノ間ニ尚ホ空
 隙ヲ存シ完全ニ通路ヲ閉塞スル能ハサリレ
 一事ナリトス
 閉塞隊員ノ掩護收容ニ就テ直接其任ニ当
 リシ第九艦隊最モ其力ヲ盡シ天明過ル迄
 敵ノ砲火ニ暴露シテ其任務ヲ遂行セリ就
 中蒼鷹鳥、遊ノ二艦ハ閉塞船隊ヲ護衛シ
 漢口ヨリ約一海里ニ前進シ敵ノ駆逐艦一隻
 ト會戦シテ大ノ損害ヲ加ヘ敵ハ汽罐ヲ破裂

0365

サレタルモ、如ク熾シニ蕪藻ヲ吹カシテ退却セ
 リ閉塞隊ノ端舟カ港外ニ退却スル時目撃手
 シタル處ニ依リ此敵艦ト認ムヘキモ黄金山
 下ニ於テ全ク進退ノ自由ヲ失ヒタルモ、如クナ
 リシト云フ我艦逐隊艇隊ニ天明馬久止盛
 丸敵ノ砲火ヲ蒙リシニ拘ラス寸髡モ損傷ナシ
 閉塞隊ノ收容ハ千代丸及弥彦丸乗負ニ懸
 ニ米山丸乗負ニ端舟三隻ニシテ方乗シテ鶴雁
 ニ收容セラレ福井丸乗負ニ霞ニ收容セラレ
 タリ

大終局ノ成績

漢口水道ノ閉塞完全ニテサリシハ道徳ナリ
 シト雖モ各閉塞艇及收容隊カ猛烈ニ敵ノ

海軍

砲火ヲ犯テ勇氣最沈着其任務ヲ遂行シタ
ル一舉敵膽ヲ奪ヒ精神上ニ無形ノ打撃
ヲ與ヘタルノミナラス萬世不滅ノ好鑑ヲ後世
殘シタルモノト謂フヘシ

七我損害

我艦艇ニ損傷ナシ

戦死 三名

重傷 一名

軽傷 八名

八兵器ノ消耗

別表ノ如シ

0367

別表

兵器消耗表

計	八	富	激	士
	速	士	甲	平
	島	島	鋼	安
	雨			陸
		五〇	二四	彈
九二			二四	士
				孟
				速
二三		二三	二	射
				砲
				士
				行
五三		二		速
				射
				砲
				五
				七
				速
				射
六六				士
				軍
				備
				倉
				庫
				庫
				庫
一一				庫
				庫

海軍

聯隊機隊第二四六

聯合艦隊命令

三十七年三月廿日
於第一軍艦司令部

一最近情報ヲ綜合スルニ敵ノ主力ハ尙未旅順港

内ニ在ルモノ如シ

二聯合艦隊ノ大部ハ旅順港口閉塞ヲ容易ナク

シムルノ目的ヲ以テ先ツ旅順ノ敵ヲ攻撃シ威嚇セ

ントス

三第一第二第三戰隊及第四第五驅逐隊ハ本

日午後四時出發第四集令地上ニ假泊更明

廿日午前六時出發別紙航路圖ニ準ルニ行

動ス

四明廿日午後七時ノ位置ヨリ各部隊ハ左ノ如ク行

動ス

(四) 第四第五駆逐隊ハ旅順港外ニ進ミ連上敵ノ
 偵察艦等ヲ発見スルハ之ヲ攻撃シ旅順港
 外ニ至ルニ探海燈ノ位置其機藏其他前進
 防材ノ有無警戒ノ情况等ヲ偵察シ第四駆
 逐隊ハ老鉄山ノ南方約五哩ノ処ニ第五駆逐
 隊ハ鮮生角ヲ以テ東ノ沖合ニ占位シ黎明迄
 止リ廿二日午前七時半本隊ニ合スル如ク行動
 ス
 但シ天明迄本隊ニ近接スカラス
 (四) 第一第三戦隊ハ圖示ノ航路ヲ取り午後十時
 ヨリ二直哨兵ヲ以テ警戒戒ヲ厳シシ廿二日午前
 十時富士ノ八島ヲ以テ老鉄山ノ南西ヨリ間
 接射撃ヲ施行セシム

0370

第三戦隊ハ港口西面ニアリテ監視的ニ任スル外
港内ヲ敵情ヲ窺フヘシ又敵出テ来レハ速ニ
シテ信難スルモノトス

第二戦隊ハ因示ノ航路ヲ執リ廿日午前十
時旅順口沖二十哩ニ来ルシ

五敵艦シ出動スルコトアレハ戦策ニ準テ決戦ス
六廿日午後一時頃攻撃ヲ止メ第五集合地奥
ニ引上ク

七開塞船隊第一第二第三駆逐隊第九艇隊

（鶴真鶴）及春日丸ハ出動ヲ準備ヲ整ヘ来ル
廿三日正午迄ニ大青島ノ東方ニ假泊待命
ス

八第四戦隊ハ出動ヲ準備ヲ整ヘ第二集合地

海軍省

9 8

矣。止。警。戒。待。命。云。云。

第五集令地矣。哨艦ヲ置クコト元如シ

九聯合艦隊ハ此行動ニ次テ旅順閉塞ヲ決行ス

ル豫定ナリ

七作戦ノ進行ト共ニ各艦ハ益々夜中ノ警戒ヲ嚴

重ニシ晝夜ヲ問ハズ時々遭敵ニ對シ直ニ之

ヲ撃滅スルノ用意ヲ完整ニ能ク天祐ヲ確

信ニ春季祭日ノ出動ニ於テ又大獲物ヲ持

シテ還ラシコトヲ祈ル

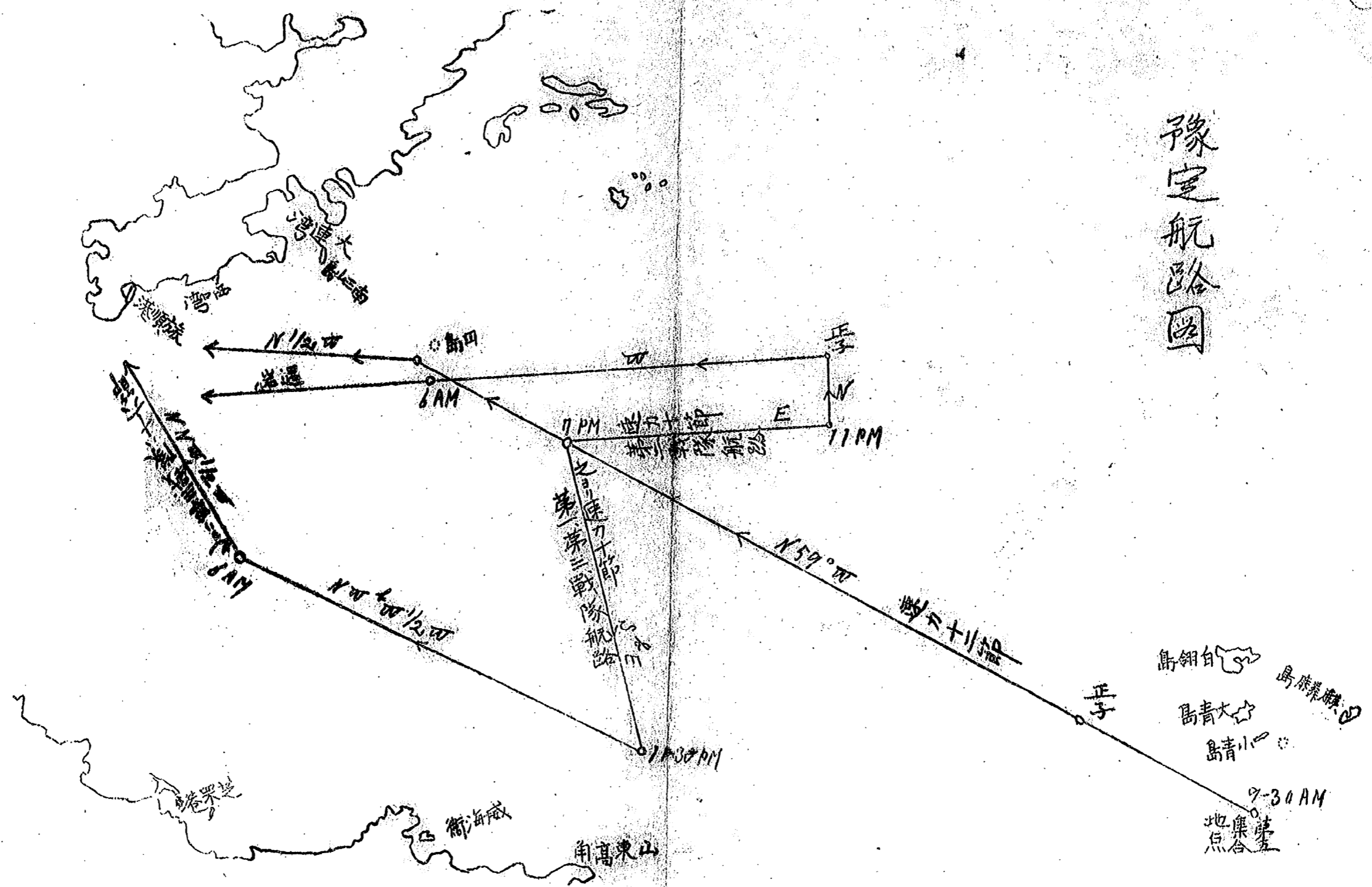
聯合艦隊司令長官東郷平助

0372

010

(7)

豫定航路圖



0373

聯隊機密二四九號

聯合艦隊命令

三月十七日
於大青島三笠

一 昨廿二日威力偵察の結果敵主力カ尚ホ悉ク旅順ニ在リテ動カサルコト確實ナリ

二 聯合艦隊ハ旅順港ヨリ閉塞シテ池水ト化シ敵ノ大部ヲ

無能ナラセタリ且ツ其根據ヲ失ハシムル唯一目的トシテ再ヒ

出動セシトス

三 第一第一三戰隊(常磐海間)第一第二第三駆逐隊及第九艦

隊(讀鶴)ハ閉塞船隊ヲ掩護シ明廿四日午前六時三十分

出發別紙航路圖ニ準テ行動ス

四 閉塞船隊及其衛艦左ノ如シ

番號	閉塞船	指揮官	衛艦
一	千代丸	有馬中佐	雁
二	福井丸	廣瀬以佐	燕

三	彌彦丸	齋藤大尉	鶴
四	米山丸	正木大尉	真鶴

五、閉塞計画実施は有馬中佐三任ス
 六、明治廿四午後七時迄閉塞船隊及其掩護部隊ハ左序
 列以テ航進ス

(第三戰隊)

3000

(第一戰隊)

3000 (閉塞船隊)

(第一戰隊)

今日午後七時各隊分離後閉塞船隊及掩護部隊ハ左
 列左ノ如シ

(第三戰隊)

間隙道

(第三戰隊)

3000

(閉塞船隊)

(第九戰隊)

七、明治廿四午後七時以後各部隊ハ左ノ如ク行動ス

(1) 第三駆逐隊ハ速カヲ増加シテ前進シ若シ田島附近ニ敵
偵察艦等ヲ發見スルトキハ極力追尾シテ曳沈スルヲ
努メテ五日前三時老鉄山ノ南方ニ至リ該方面ヲ警戒
シテ閉塞事業ヲ容易ナラシムヘシ但シ閉塞船隊ノ闖
入セザル前敵眼ニ触レサルヲ要ス

(10) 第一第三駆逐隊ハ旅順港ノ正南迄因示ノ位置ヲ占
閉塞船隊ヲ擁護シ若シ敵ノ駆逐隊等ノ來襲スルト
キハ極力攻撃シテ閉塞船ヲ護衛スル
又港外ニ至ルハ閉塞船ノ航路ヲ避ケテ其後方ニ面リ第一
逐隊ハ鮮生角ノ正南三哩、第三逐隊ハ港ノ正南四哩
ニ占位シ天明迄止リテ閉塞隊員ノ収容ニ努ムヘシ若シ
閉塞船ノ前進ニ際シ敵ノ砲撃等アリトキハ直ニ探海燈ヲ莫
火砲ヲ連發シ出來得ル大ニ敵ヲ惑亂牽制スル

12

ハ第九艦隊の艦隊司令官、閉塞艦隊一隊、九隻、二ツリテ港の

ヨリ約一哩迄前進シ、若シ敵艦ヲ發見セハ突進直撃ス

ニ各衛艦ハ其所屬閉塞艦隊左側適當ノ距離ニ占位

シ、港外迄隨航シ、港外ニ閉塞艦隊ノ後方ニ集合シ、港

ヨリ約二哩、如シ進ニ極力閉塞隊員ノ收容ニ努ム

ニ各艇逐隊及艦隊ハ味方識別暗號以テ敵味方ノ識別ニ

注意シ、外尚ホ兩ヤード、山ニ四旗以上ノ信號旗ヲ連

掲シ被我ヲ識別ス

(ホ) 第九艦隊(被開者等)ハ因テ、航路ヲ迂回シ、廿五日午前六時

ヨリ速力十六節ニテ旅順港外ニ直進シ、我艇逐隊艦隊

等ノ尚ホ港外ニ殘シ、モヲ掩護シテ收容ニ努ム、タル閉塞

隊員ノ收容ニ努ム、且ツ港口閉塞ノ成否ヲ見届ク

(ハ) 第九艦隊ハ因テ、航路ヲ迂回シ、廿五日午前八時、遇岩ニ達

0377

(1) 各部隊其任務ヲ了シハ一度遇岩南方約五哩地真ニ

集合シ後命ヲ待ツ

ハ第一戰隊(第壱隊間ヲ欠ク) 第四戰隊及第四第五駆逐隊ハ

第五集合地ト云ニ即刻出航準備ヲ整ヘ待命ス

第五集合地ト云ニ哨艦ヲ配備スルコト元々如シ又第五集合

地ト云ニ正西四千里ニ一艦ヲ配シ無線電信ノ連絡ヲ取ラシム

九 斷シテ行ノ鬼神モ之ヲ避ク而カモ大膽ハ最モ安全ナリ閉

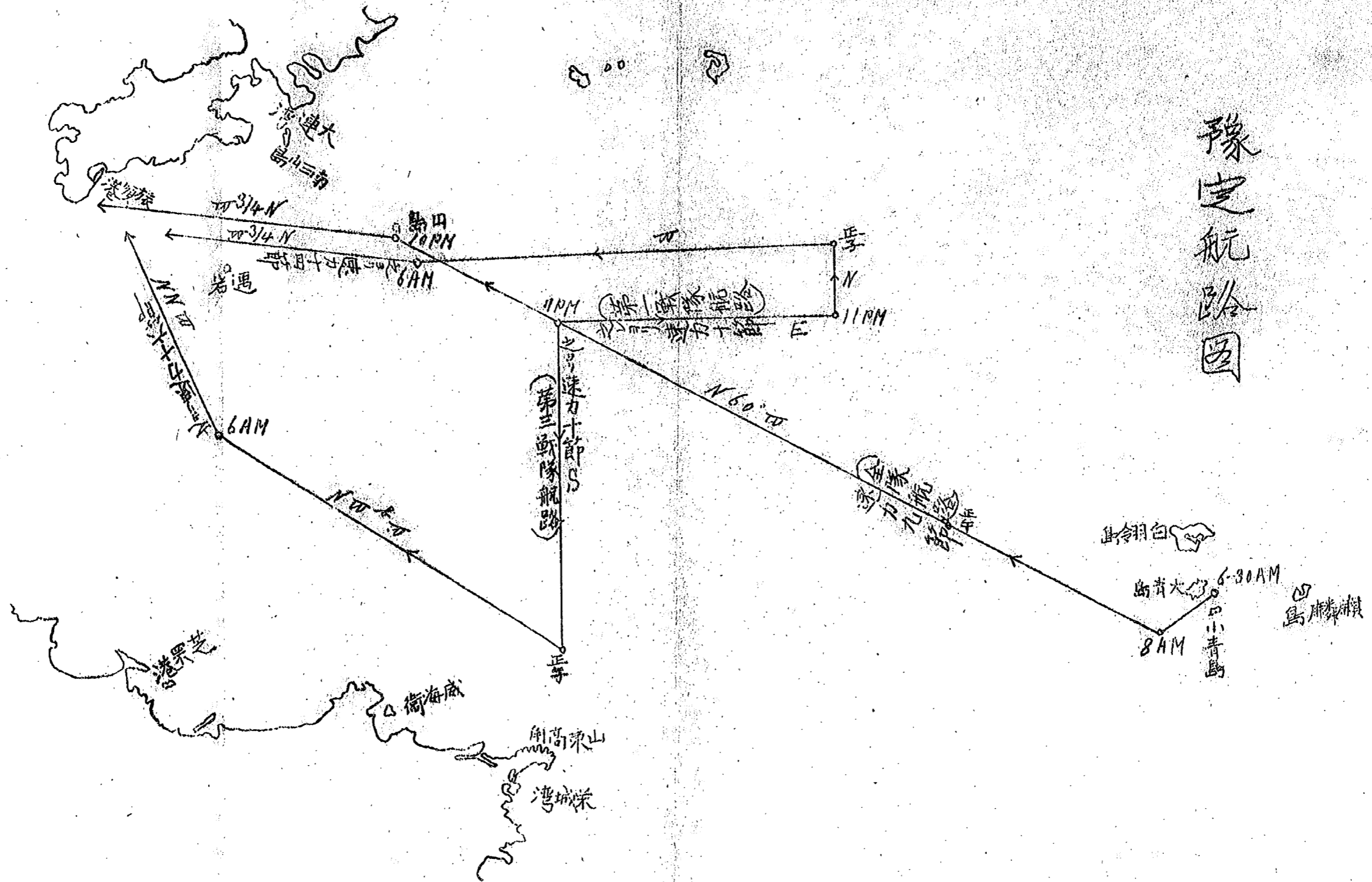
塞隊ハ素ヨリ之ヲカ掩護收容ニ従事スル各部隊ハ皆

其心ヲ一ニシテ天佑ヲ確信スルト共ニ各其担任ノ任務ニ就キ

テ全カヲ竭シ此大成效ヲ遂ケサル可ラス

聯合艦隊司令長官東郷平八郎

14



0379

9/6

聯隊機密第一六三号ノ三
旅頃口閉塞隊ヲ左ノ通り編制ス

明治三十七年三月十九日

聯合艦隊司令長官東郷平八郎

閉塞隊編制

第一閉塞隊(用船千代丸)

指揮官海軍中佐 有馬良橋

指揮官附海軍中尉 鳥崎保三

機関長海軍大塚山賀代三

(三等)一等兵曹 林紋平 (艦長) 一等水兵 下田幾納助

(海門) 一等水兵 三上勘次郎 (三等) 一等機関曹 佐藤末吉

(初瀬) 一等機関曹 藤山新吾 (初瀬) 一等機関曹 永市之助

(三) 一等機関兵 阿部惣次 (艦手) 一等機関兵 奥村又次郎

(千) 全 川瀬信三郎 (艦手) 一等機関兵 有馬精一

(千) 二 一等機関兵 折戸直三郎 (三笠) 全 山岡惣一郎

(新) 全 白井典作 (對馬) 全 神谷栄三郎

(千) 全 第二 阿部塞隊 (用船福井丸)

指揮官 海軍少佐 廣瀬武夫

機関長 海軍大機関士 栗田富太郎

指揮官附 海軍上等曹 杉野孫七

(敷) 島 一等兵曹 飯無禮仲進 (朝日) 二等信号兵曹 管波政治

(吾) 妻 一等水兵 平野一郎 (敷) 島 二等機関兵曹 松下軍吉

(朝) 日 三等機関會 平野松三郎 (朝日) 一等機関兵 坂井主計

(敷) 島 一等機関兵 中條政雅 (吾妻) 全 石井左市

(八) 雲 全 小林吉太郎 (八雲) 二等機関兵 塚本達郎

0
6

(五妻) 二等機関兵 沓澤 皆藏 (高穂) 二等機関兵 小池 幸三郎
 (朝日) 全 山本 半二 (敷島) 全 楠 鐵藏
 (青田) 全 井畠 小次郎

第三関寒隊 (用船 彌彦丸)

指揮官 海軍大尉 齋藤 七五郎
 指揮官附 海軍中尉 森 初次
 機関長 海軍機関士 大石 親徳
 (八島) 一等兵 曹村 上甲吉 (初瀬) 一等水兵 徳田 宗一郎
 (出雲) 二等水兵 杉本 三藏 (初瀬) 二等機関曹 國郎 熊太郎
 (八島) 三等機関曹 伊藤 三次 (初瀬) 一等機関兵 小出 由太郎
 (出雲) 一等機関兵 木下 初藏 (浅間) 全 小西 萬吉
 (八島) 全 瀬寄 繁三 (八島) 二等機関兵 富田 六治郎
 (出雲) 二等機関兵 古賀 繁雄 (浅間) 全 平松 典太郎

(青野) 二等機関兵 近本太吉

第四 閉塞隊 (用船米出丸)

指揮官 海軍大尉 正木義太

指揮官附 海軍中尉 島田初三

機関長 海軍機関士 杉政人

(高砂) 二等兵曹 塩谷巳之資 (常磐) 二等信託兵曹 二名郷一

(富士) 三等兵曹 赤松侑太郎 (常磐) 二等機関兵曹 鈴川太郎右馬

(富士) 二等機関齋 吉屋五郎吉 (富士) 一等機関兵 河野素次郎

(常磐) 一等機関兵 溝淵平太郎 (常磐) 全 温田況三

(笠置) 全 後藤茂美 (高砂) 全 福島熊喜

(富士) 二等機関兵 中村儀三郎 (笠置) 二等機関兵 林豊

(浪速) 全 羽賀力藏

初瀬機密第一九号

三月廿九日

明治三十七年三月廿日行動



第一戦隊、午前八時十八分、旅順港口外南東約十四哩、所
漂泊、駆逐艦水雷艇特別運送船隊、負、収容、来、合、
老鐵山沖、第三戦隊、北向、スル、認、淺、同、列、離、駆、逐、
艦水雷艇、特別運送船隊、負、収容、從事、セ、ル、如、シ、
駆逐艦水雷艇、皆、無、事、現、在、セ、リ、

敵艦隊、港口西側、饅頭山下、出、テ、運、動、セ、リ、

ベトロハバロウスノ形ニ隻、ハレス、海、上、ホ、バ、イ、シ、ア、ス、ユ、ル、ト、ハ、ヤ、ー、ト、六、隻、外、
港口ニ隻、アリ、レ、カ、如、シ、

午前九時三十分、旗艦ノ通、跡、ヲ、進、ミ、月島、方、向、退、却、セ、リ、

初瀬機密第一九号

0384

明治三十七年三月二十七日

初瀬艦長海軍大佐中尾 輝



第一艦隊司令長官東郷平八郎殿

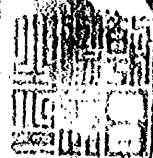
0385

障ナシ

本報者候也

明治二十九年一月廿九日

藤田 啓



此ノ本報者候也

0390

Handwritten Japanese text in a vertical column, likely a historical document or letter. The characters are in a cursive style (sōsho).

0393

